



学校教育目標 主体的に考えて行動する－自律・創造・尊重－

# 加古中 TIMES

笑顔あふれる学校 KAKOGAWA

Knowledge(知識・経験からの情報)  
Action(行動・活動)  
Kindness(親切・思いやり)  
Open-minded(広い心・偏見のなさ)  
Growth(成長・発展)  
Appreciation(感謝・正しい評価)  
Wellness(心身の健康・生活のバランス)  
Answer(答えを見出す)

## 2024 パリオリンピック銀メダリストが加古川中へ！

4月18日(土)の午前中、本校武道場において、2024パリオリンピック柔道女子 78kg 級銀メダリストの高山莉加選手を特別講師としてお招きし、柔道の体験教室が開催されました。

参加者は、本校新入生のうち希望者及び柔道部在校生でした。当日は約40名(新入生7名)が参加し、スポーツの楽しさはもちろん、世界のトップアスリートと触れ合うことで、「夢を持つことの大切さ」を学ぶ貴重な機会となりました。

限られた時間の中で、メダリストによる迫力ある技のデモンストレーションに加え、柔道未経験の新入生でも楽しめる体験プログラムを実施していただきました。

参加した矢羽野くん(柔道部主将)から「オリンピック選手の技を間近で見ることができました。また、一緒に組み合わせ練習ができて貴重な経験となりました。また本物のメダルも見せていただいて、感動しました。」といった声が聞こえてきました。



終了後に、校長先生から「オリンピックに出場してメダリストとなった経験から、一番学んだことは何ですか？」と質問しました。高山選手は「あきらめずに、コツコツと努力し続けることで、いつか目標にたどりつけます。ゴールの直前まで来ているのに、そのことに気づかずに辞めてしまう人を見てきました。シンプルに、粘り強く継続することが大切です。」と丁寧に答えてくれました。生徒の皆さんも、自分の目標に向けて、粘り強く取り組んでください。

オリンピックのメダルは、ずっしりと重かったですよ。触らせてもらった生徒に、ぜひ感想を聞いてみてください。 ※今日の神戸新聞朝刊にも記事が掲載

### 「15分の差」が未来を変える(3-8の学級通信より一部抜粋)

勉強で大きな結果を出す人は、何時間も机に向かっている特別な人だと思われがちです。しかし、実際には「少しの差を続けられる人」が伸びていきます。その代表が1日15分の積み重ねです。例えば、毎日15分だけ英単語を覚える、漢字練習をする、数学の問題を1問解く、授業ノートを見直す。たった15分と思うかもしれませんが、15分を30日続ければ450分、つまり7時間30分になります。1年間続ければ91時間です。何もしなかった人との差として積み重なっていきます。

(中略)

今日の15分は小さな努力かもしれませんが、その15分が1週間後、1か月後、1年後には大きな自信となって返ってきます。未来を変えるのは、特別な才能ではなく、今日の15分です。



HPのトップページをリニューアルしました！